

# 東大野球部

New! メールマガジン

Vol.56



いよいよ

秋風が肌に心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋季リーグ戦も残すところあと3カードとなりました。法大戦では第二戦で勝ち越しに成功したものの、連敗を喫してしまいました。その悔しさを慶大戦で晴らすべく、部員一同練習に励んでいます。

今後とも温かいご声援の程、よろしくお願い申し上げます。

## 今後の予定

〈秋季リーグ戦〉

9月 29日	立大 10:30	早大	慶大 13:00	東大
30日	東大 10:30	慶大	早大 13:00	立大
10月 6日	立大 10:30	法大	東大 13:00	明大
7日	明大 10:30	東大	法大 13:00	立大

## 僕の野球人生⑤

4年生部員に、今までの野球人生を振り返って思うこの特集。第5回目は、館選手と森本選手、栗山学生コーチに話を聞きました。

館 洋平（4年・副将・外野手・富山中野）

僕が野球を始めたのは、父とのキャッチボールがきっかけでした。あの時は自分の利き腕すらわからず、右投げで投球していました。少し経ってから左投げの方が遠くに投げられる事に気付き、左投げとして野球を始めました。

野球遍歴としては小学校、中学校は地区で優勝できるほどの勝てるチームにあり、勝つのが当たり前という感覚で野球をしていました。しかし、進学校の高校に行ってからなかなか勝てず勝つことの難しさを痛感し、一方で強豪校を倒す充実感を味わえたと思います。また、いい意味で周囲の予想を覆してやろうという反骨心も芽生えました。その気持ちで東大野球部で野球を続けるきっかけになっているのかもしれない。

今までで一番印象に残っている試合は大学2年の時に早稲田の斎藤投手から勝ち星を挙げた試合です。自分が決勝打を打ち、チームに貢献できた大学リーグ戦初勝利は格別の思いでした。しかし、それ以来勝ちを経験できていないのも事実です。この秋にまた勝って本気で喜べるよう頑張り抜きたいと思います。

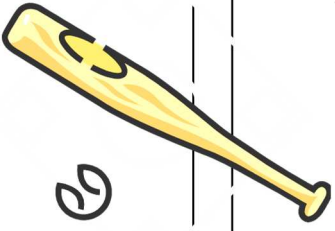


森本 祥太郎（4年・外野手・美鷹）

僕が野球を始めたのは小学校3年生のときで、親からサッカーか野球チームに入るよう勧められ、友達の多かった野球チームを選んだというのがきっかけです。

大学に入ってから思うようにいかないことも多く、苦しいことも数多くありました。しかし、多くの人の支えがあるからこそ、ここまで野球を続けられることが出来ていると感じます。まだ神宮で活躍することができていませんが、ここに来て調子は上がって来ているのでなんとか残り少ない試合の中で勝ちに貢献することが出来ればと思っています。今までの野球人生を振り返ってみるとやはり、一番実力が伸びたときというのは野球を楽しめていたときだったと思います。そういうときは思い切りの良いプレーが生まれると思うので、最後までそうした「野球を楽しむ」気持ちを忘れずにやり切りたいです。

また、引退しても野球部での経験を生かしてやっていければと思っています。

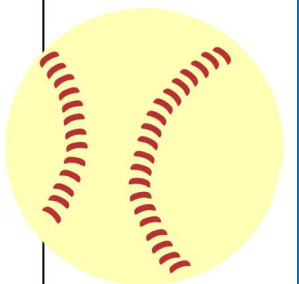


栗山 陽介（4年・学生コーチ・山形東）

僕が野球を始めたきっかけは、地区の回覧板に入っていた少年野球の部員募集です。当時はちょっと甲子園を見ていたくらいでほとんど野球を知らなかったのですが、何となく始めたような気がします。それから十数年も野球を続けることになるうとは思っていませんでした。

そんな今までの野球生活の中で一番印象に残っている試合は高校時代の最後の試合です。小さい頃から高校野球を見ていたのでこれで終わってしまうんだなと思ったのを強く覚えています。この時の悔しさがあって大学でも野球を続けることになったと思います。

大学に入ってから三年生の時に選手から学生コーチになり、今までは全く違う立場になり難しい事が多かったのですが、とても充実した時間を過ごすことができたと思います。残り3カードになってしまいましたが最後に笑って終わればと思います。





次回は永井選手、吉津主務を特集致します。お楽しみに！

## 編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。野球を始めたきっかけは選手によってそれぞれですが、今まで支えてくれた方々に勝利で報いたいという気持ちは共通しているようです。感謝の気持ちを表現するためにも、残り3カード、全力で戦って参りたいと思います。  
皆様ぜひ、神宮へ足をお運び下さい！

## お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL & FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-pbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等  
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

